

Trombone

個人基礎練習のポイントとアイデア

吹部

時短 Note.

時間短縮で楽しい吹奏楽部アイデア集

■ 目的を考えて練習メニューを作ろう

体調や、取り組んでいる曲への必要な練習があると思うので、自分で時間配分を考えた練習メニューパターンを、幾つか事前に考えておきましょう。例えば…

例 1 : 息の流れの確認や音色を作る際はロングトーンの時間を多めにする。

例 2 : 音の立ち上がりや細かいリズムをはっきり正確に練習したい時はタンギングの時間を多めにする

例 3 : 高音の練習や音の跳躍を練習したい時はリップスラーの時間を多めにする

練習の目的を意識して練習すれば、個人基礎練習が充実すると思います。

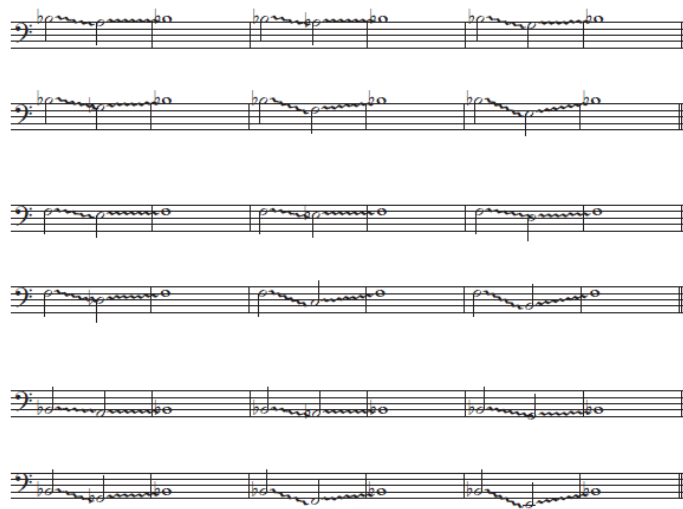
■ マウスピースバズィング

- ・無理矢理、音を出すのではなく「息が勝手に唇を振動させ音になる」感覚を大切にしましょう。
- ・ピアノやチューナーなどで、音を聴きながら音程を取れるようにしましょう。

■ ロングトーンのポイント

自然な息の流れ、音色を磨き安定させるための練習としてロングトーンは大変効果的です。

- ・譜例をノートンギング、ポルタメントをして練習してみてください（リラックスした奏法のため）
- ・安定した音、ポジショニングを意識してください。



■ タンギング

- ・基本のテメートを優先して練習してみましょう。
- ・音が壊れる、音色を犠牲にするのは良くありません。音色をキープできる速さから丁寧に練習してみてください。
- ・テンポの速いタンギングの場合、息のスピードが落ちやすいので気をつけましょう。

♩ = 60 → 120



※半音ずつ下降

■ スケール

- ・正しい音程感やスライディング技術を向上するためにも、速さよりも正確さを優先して練習しましょう。
- ・様々な調にも挑戦してみましょう。

Bb Major (B dur)



Eb Major (Es dur)



■ リップスラー

- ・音域を広げたり、唇の柔軟性のためにリップスラーを練習してみましょう。苦手意識を持たずに、以下のポイントを意識してマスターしてみましょう。
- ・トロンボーンの苦手するレガート奏法にも直結するので、たくさん練習してください。
- ・音域によって音量の差が出ないように気をつけてください。
- ・口ばかり意識するのではなく、息の流れを大切に。
- ・マウスピースバズィングで音を確認するのも良いアイデア。

練習例(JBCバンドスタディより)



※半音ずつ下降



※半音ずつ下降



※半音ずつ下降